

選手会活動報告 2018.4.01～2019.3.31

日本スポーツ雪合戦選手会 役員一同

4月 国際雪合戦連合（昭和新山）へ

『選手会としてルール審判に関するパブリックコメント』を提出しました。

※現在組織が分裂している中での改訂検討は求めず、あくまで組織がひとつになった時に、検討を要請したいという趣旨で、選手が考えている意見として取りまとめたものです。

また、選手会メンバーの意見も尊重し、提出内容を検討し、稚内の市川さんと福山の辻さんから、別途パブリックコメントを提出してもらいました。

5月 『日本スポーツ雪合戦選手会 声明文』を日連と各連盟へ提出しました。

国際雪合戦連合と逆光する、日本連盟の世界連盟設立の動きに対して、組織の1本化に逆行する動きであるとしてとして 『声明文』の形で提出しました。

6月 日連総会での経緯についての報告 役員のための情報公開

・雪合戦マガジン編集部で集計した、全国のチーム数集計資料の公開

9月 日連の運営資金難での情報 ※役員のみ

中国との契約不履行による資金難

12月 日連の動向について 富山専門委員会での情報を役員で検討 ※

【概要】資金難により、日本選手権の開催のために日本政策金融公庫からの借入れを行い、2020年より返済をしていくというもので、返済計画等も記載されているものです。

3月 現行の選手会役員メンバーが 継続していくことを確認。

～全メンバーの承認を受けます。

●これまでの報告として選手会のホームページにも記載しています。

【経緯について】※印の記載

※役員限定としている情報については、組織の運営に関わる資金面の重要事項であるため、所属組織の異なる、またはどちらにも属さないメンバー、純粋に雪合戦を楽しんで大会に参加しているメンバーを考慮してのことです。

この間、選手会の全メンバーへの活動情報など報告が停滞したのはその為とご理解ください。選手会選手会役員で昨年末から意見を確認した結果、選手会メンバーへの情報公開については、静観せざるを得ないとの判断から、大まかな経緯にとどめさせていただいています。

本来は 上部組織（連盟連合）

- － 下部組織（各都道府県連盟）
- － 加盟チーム ならびに選手

という構図が本来のものだと思いますが、加盟チームの存在や、正式な登録方法など、曖昧な現状があります。

例えば加盟登録料を大会参加費に含んでいる場合などです。

運営組織としては 加盟チームとして扱っている連盟もありますが、大会参加のみで、全てのチームや選手の方でそれを意識されているケースも少ないのが現状であり、逆にチーム・選手の意見がボトムアップされていく構造にもなっていない地域が多く、仮に意見出来たとしても、地域組織も大会運営が主であり、分裂している上部組織にも意見が出来ない、改革もできない、という雪合戦自体がまだ成熟できていない現実と捉えます。

意見を伝える、情報を共有するための意義が『選手会』に設立の目的のひとつであり、有志の皆さんを、ひとつにつなげるためのものです。

【今年度について】

- （１） 現行の 選手会代表、地区代表、ならびに各地の役員（発起人メンバー）について留任の承認確認 ※①
- （２） 選手会としての交流企画 なかなか負担もかかることですが、可能であれば当面のところ 9月の予定で首都圏（埼玉）での雪合戦交流大会（仮）、懇親会などを、検討していきます。
- （３） 選手会自体こと、各組織への意見など、メンバーの声を取り入れていきます。